

Case①

端末のセキュリティと管理

- 端末からの情報漏えい防止
- ゼロタッチによるシームレスな展開
- VDI基盤の準備・構築・運用

Case②

運用の高度化・効率化

- 端末管理などのルーティンワークからの解放
- ネットワーク機器の運用省力化
- エキスパートによるセキュリティ運用高度化

Case③

ゼロトラスト・ネットワーク

- ゼロトラスト化の段階的な検討
- 閉域網のデータ量軽減
- 業務端末でのインターネット分離

Case④

アプリケーション

- Microsoft 365の導入・移行
- Microsoft 365チーム乱立防止、データバックアップ
- 既存アプリケーションの延命

Case①：端末のセキュリティと管理 端末のセキュリティと管理

HITACHI
Inspire the Next

いつでもどこでも安全・安心に利用できるクライアント環境には、**管理と端末そのもののセキュリティが重要**

自宅・サテライト



パッチ未適用などの管理不備リスク
自宅での初期キッティング

A

端末の遠隔管理とゼロタッチ

Intune

Autopilot

インターネットベースの資産管理及び
デバイス状態の把握・制御

端末の持ち出し



紛失・盗難リスク

B

端末そのもののセキュリティ

秘密分散

揮発型

VDI + シンクライアント

セキュリティ要件に応じた、クライアント
の提供

ベースオフィス



オンプレミスとクラウドでの
端末の共同管理

C

オンプレミスと・クラウドの
ハイブリッド運用

IntuneとMECMの連携

企業のネットワーク構成や管理要件などに
応じた、クラウド管理とオンプレミス管理の
最適化

Intune : Microsoft社製の端末管理SaaS

Autopilot : Windows PCをクラウド経由で自動セットアップするMicrosoft社製ツール

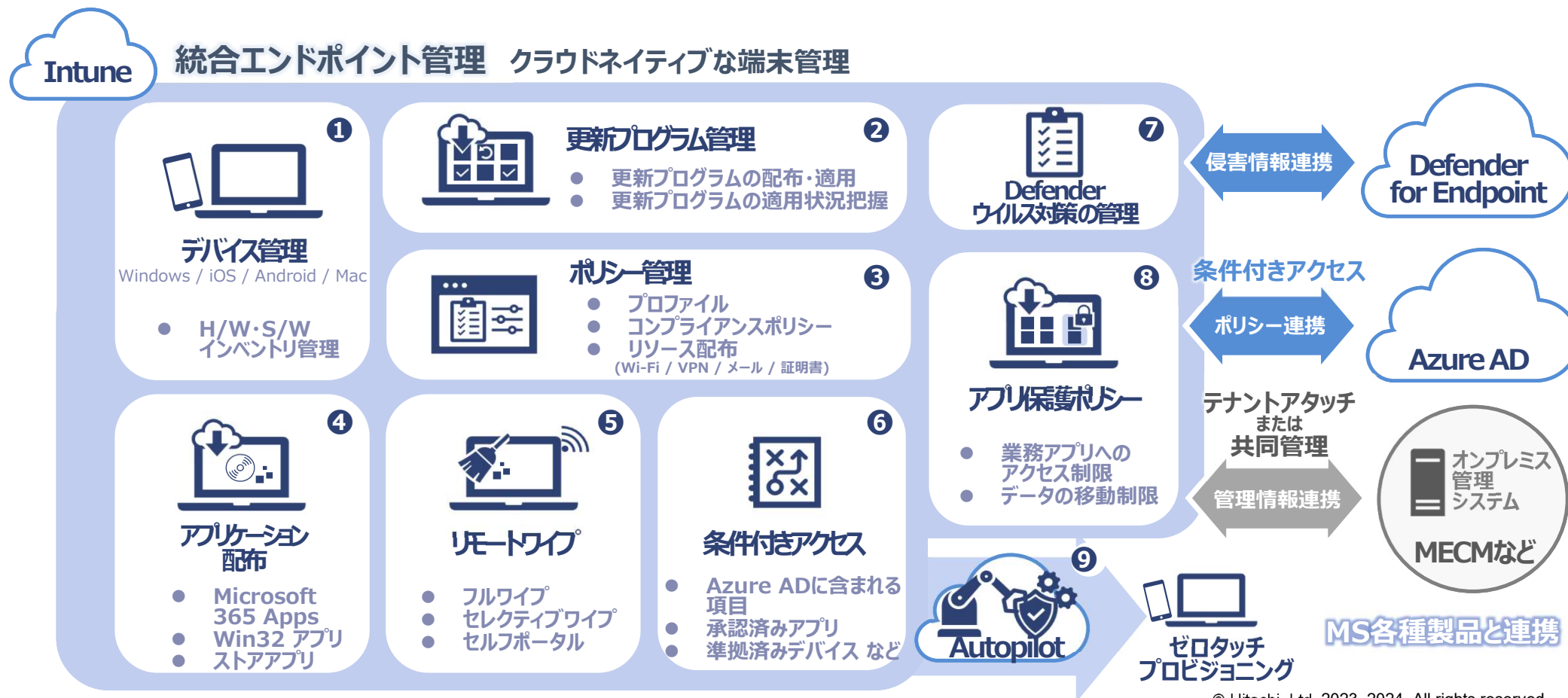
VDI : Virtual Desktop Infrastructure, デスクトップ環境を仮想化してサーバー上に集約する仕組み

MECM : Microsoft Endpoint Configuration Manager, Microsoft社製のオンプレミス端末管理ツール

Case①：端末のセキュリティと管理

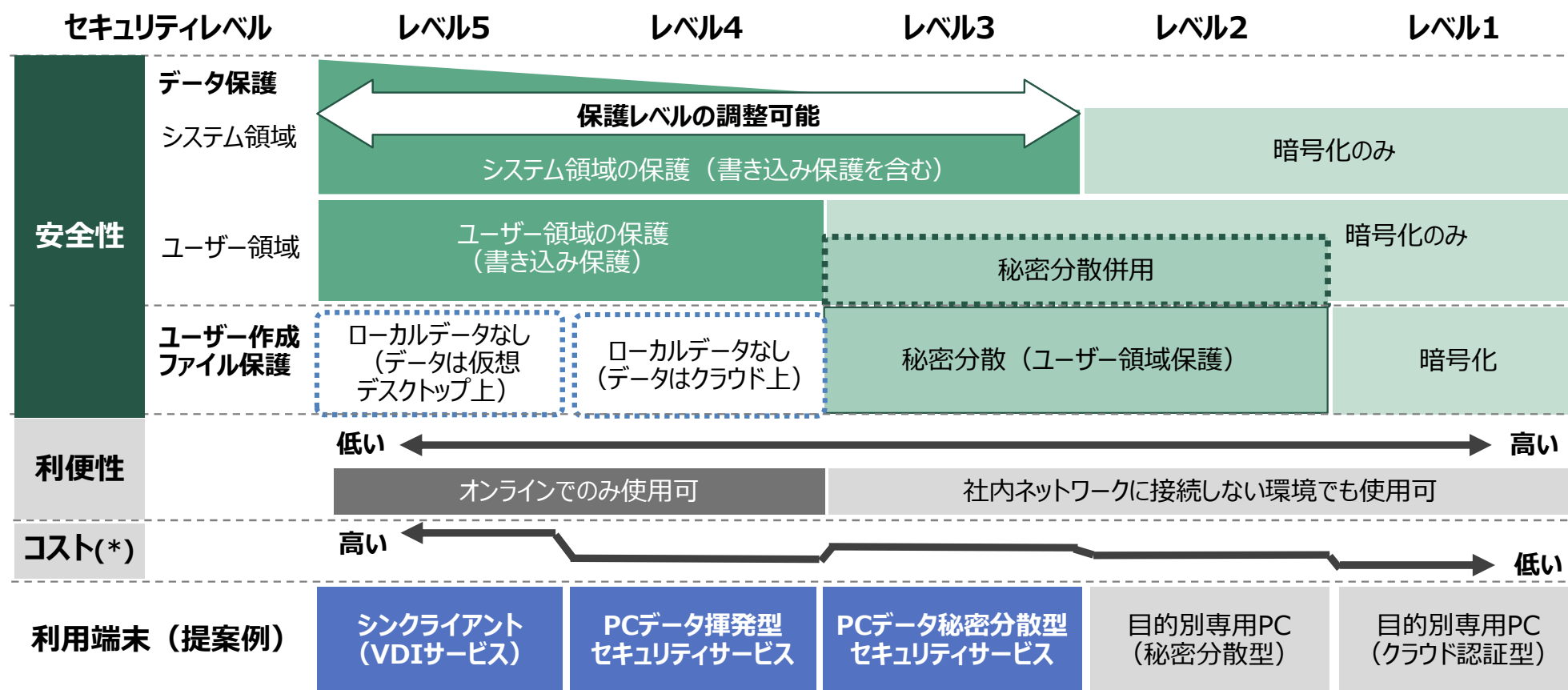
A 端末の遠隔管理とゼロタッチ

「Intune」 Azure ADやDefender for Endpoint、オンプレミスのMECMなどと連携して端末を管理
「Autopilot」 Intuneと連携しWindows PCのセットアップを自動化



B 端末そのもののセキュリティ

必要なセキュリティレベルや利便性、コストに応じた最適な施策をご提案



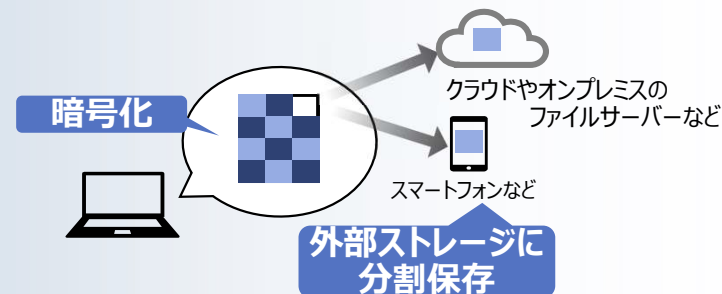
(*) PC1台あたりに換算した際のコスト。レベル2、3、4のコストは、使用するサービスの選択や設定によって異なります。

B 端末そのもののセキュリティ

PCデータ揮発型セキュリティサービス



PCデータ秘密分散型セキュリティサービス



	PCデータ揮発型	PCデータ秘密分散型
説明	シャットダウン時にデータを揮発	シャットダウン時にデータを分散保存
セキュリティ強度	PCにデータは残らない	PCに(閲覧できない)データが残る
ユーザビリティ	データのダウンロードが必要	PCにデータあるのですぐに利用できる
ネットワーク接続	オンラインでのみ使用可	社内ネットワークに接続しない環境でも使用可※
通信量	多い(データの取得・格納が必要)	少ない(データはPC内にある)

利便性と安全性を向上する日立独自機能

安全性

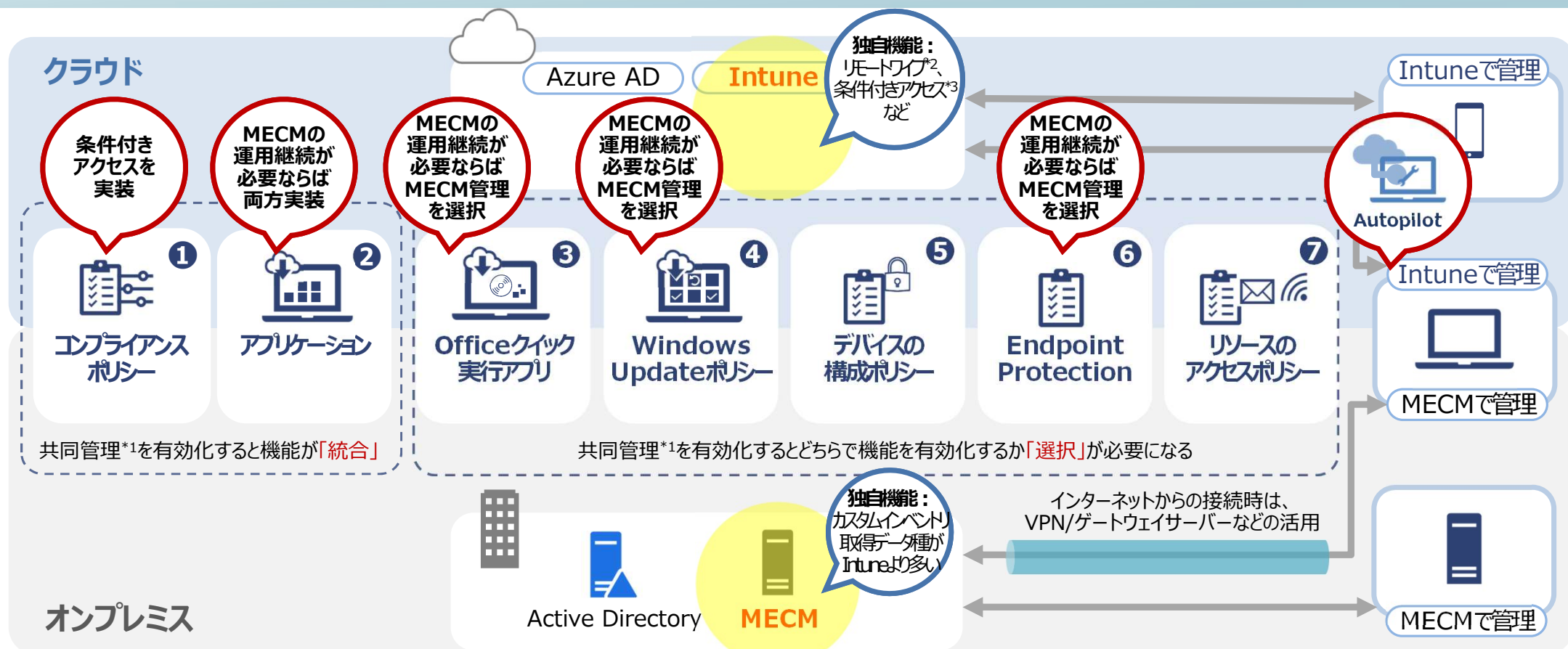
- ・一定時間の無操作を自動検知し、強制シャットダウン
- ・USBメモリーなど外部デバイス出力制限
- ・ユーザーでの設定変更防止

利便性

- ・アプリケーションや辞書データなど、機密性がない情報は保持
- ・ユーザー操作でOSを復旧(ローカルリカバリ)

※分散データの格納先として、スマートフォンやUSBメモリー利用時

IntuneとMECMには機能差異があり、お客さまのポリシーに応じ適切な設計が必要
お客さまと並走しながら要件ヒアリングやPoCを実施、IntuneとMECMと融合させた最適な管理環境ご提案



*1 共同管理：MECM のデバイス情報を Intune に同期させることで、MECM と Intune の両方で Windows デバイスを管理できるようになる機能
*2 遠隔でデバイスを初期化する機能 *3 パッチ未適用機器をアクセス不可にするといったアクセス制御機能

Case②：運用の高度化・効率化

IT部門のお悩みにお応えする「統合クライアントサービス」

HITACHI
Inspire the Next

IT機器の調達から運用保守、利用後の回収、廃棄までをアウトソースしてIT部門の負荷を軽減することで、注力すべきIT企画業務に専念できます。



Case②：運用の高度化・効率化

ネットワーク管理者の負担を軽減する「統合ネットワークサービス」

HITACHI
Inspire the Next

シスコネットワーク機器の利用権とライフサイクルにまたがる各種サービスを月額料金でご提供します。

■ サービスの特徴

月額定額

- ネットワークインフラのコストを平準化でき、IT投資の計画策定が容易になります。
- インフラ導入時期の短期的な費用増加を抑えることでキャッシュフローの安定化が可能です。

シンプルな契約

- 複数のサービス（機器の使用権、サポート、保守、導入サービス）を単一の契約締結で利用できるため、契約管理や事務手続きにかかる時間と労力を節約できます。

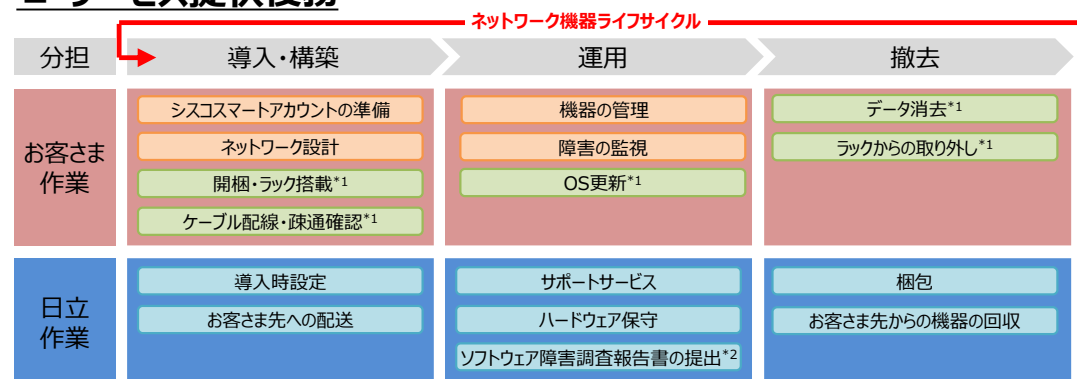
安心の日立サポート

- 長年のネットワーク機器の取り扱い実績に基づく高品質のサポートを提供します。
- 重度障害発生時に詳細な原因調査を行うオプションを提供します。（ソフトウェア障害に限る）
- 日立サポート360との連携によるワンストップのサポート・保守を提供します。

併せてご利用ください「ネットワーク機器OS更新サービス」

- ネットワーク機器のOS更新作業を代行し、お客さまのシステム運用の負担を軽減します。
- バージョン差分の調査やシステムテストの立ち会いなどのオプションもご提供します。

■ サービス提供役務

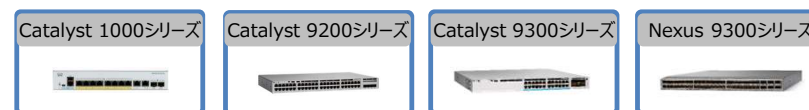


*1: 別途サービスをご注文いただくことで作業の代行を承ります。

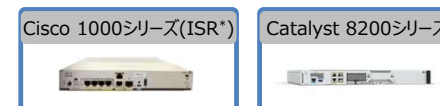
*2: オプションサービスです。

■ 対象ネットワーク機器

L2/L3 ネットワークスイッチ



WANルーター (SD-WAN対応)



* ISR: Integrated Services Router（サービス統合型ルーター）

・ 外観画像はイメージであり、実際のネットワーク機器とは異なる場合があります。

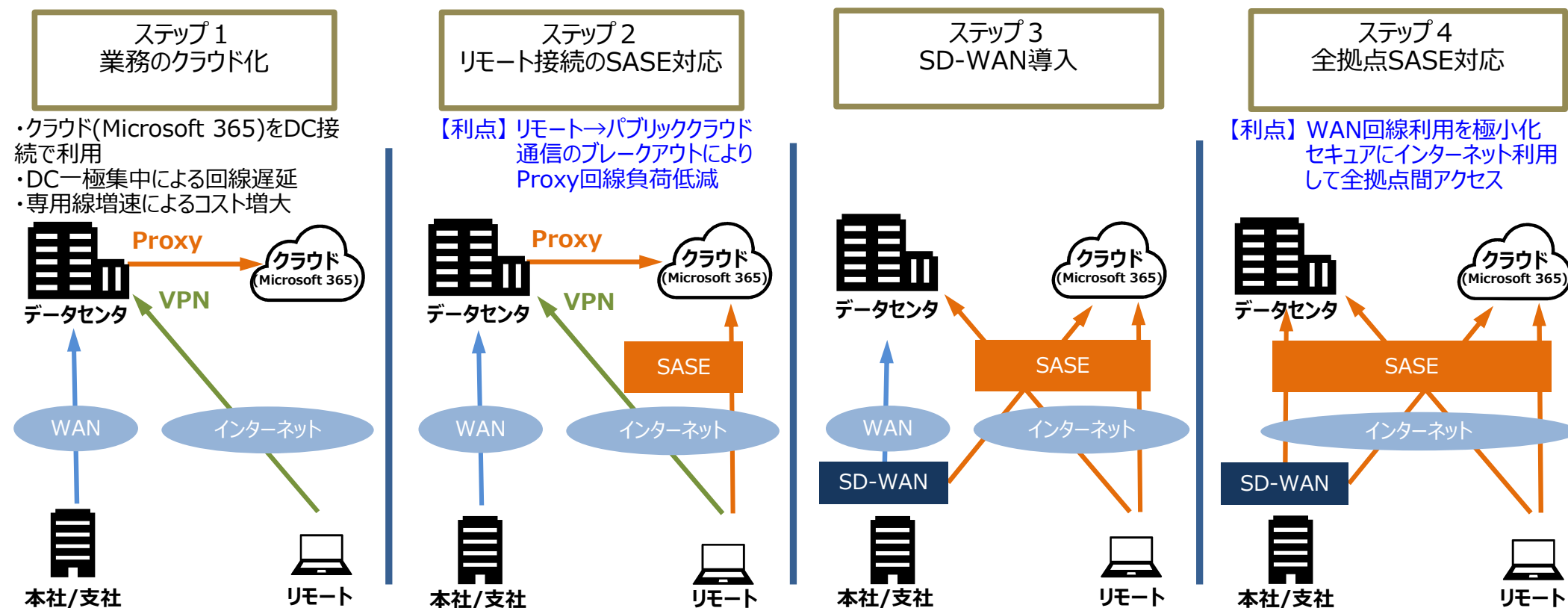
© Hitachi, Ltd. 2023, 2024. All rights reserved.

Case③：ゼロトラスト・ネットワーク

インターネット主体、ゼロトラスト型セキュリティを支援

お客さまの業務のクラウド化に合わせ、PoC検証を踏まえ、SASE、SD-WANを順次導入

■ 導入例



SASE：Secure Access Service Edge, ネットワークとネットワークセキュリティを統合し、提供するクラウドサービス
SD-WAN：Software Defined Networking, 仮想的なWANをソフトウェアを用いて管理する技術

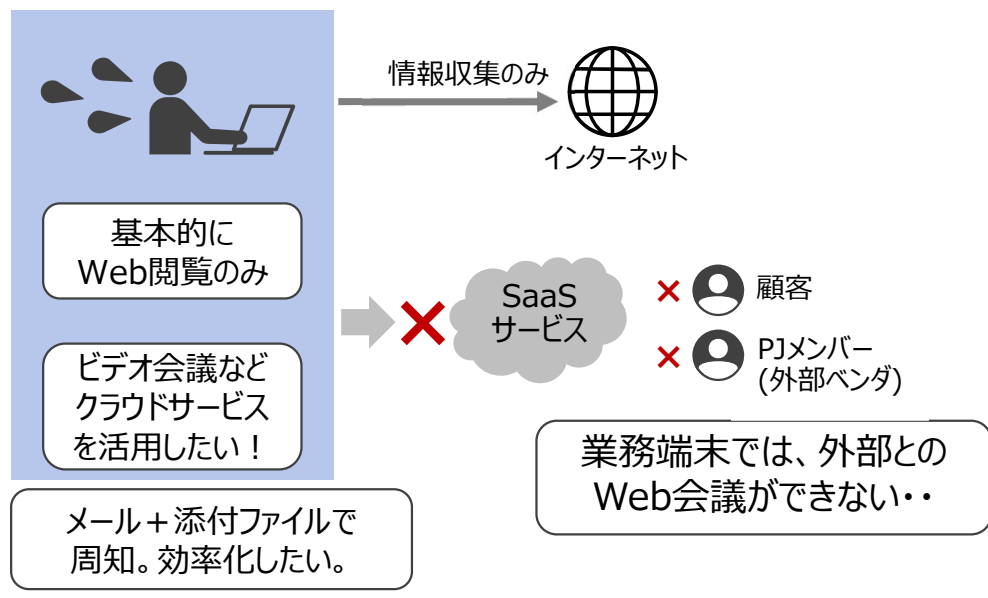
Case④：アプリケーション

お客さまの現在のIT環境に合わせてMicrosoft 365の導入を支援

スマートワークの推進のために、まずはMicrosoft 365導入によるコミュニケーション基盤の整備が重要

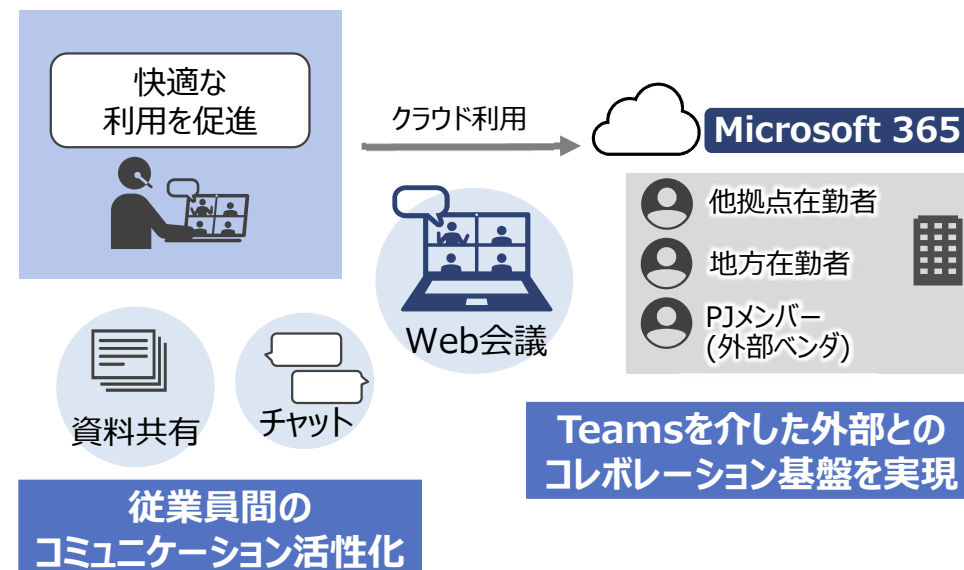
導入前の課題

- 情報漏えいのリスクから守るためインターネットアクセスを制限。クラウドサービスの利用に制限が生じていた。
- 従業員の業務端末からWeb会議が主催できない。
(参加招待を受ける場合においても別途インターネット接続端末が必要)



導入後（従業員のメリット）

「Microsoft 365導入/技術支援サービス」
現在のインフラ環境にクラウド活用をあてはめ、
外部とのコラボレーション基盤を実現



■ 他社商品名、商標などの引用に関する表示

- ・Azure、Microsoft Defender、Microsoft Intune、Microsoft 365、Office 365、Windows、Win32、Teamsは、マイクロソフト 企業グループの商標です。
- ・Androidは、米国およびその他の国におけるGoogle LLC の商標または登録商標です。
- ・iOS、Macは、Apple Inc.の商標です。
- ・EverFlexは、Hitachi Vantara LLCの商標または登録商標です。
- ・Cisco、Cisco Systems、Cisco Catalyst、Cisco DNA、Cisco Nexusは、米国およびその他の国における、Cisco Systems Inc.および関連会社の登録商標または商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名等は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ サービス・製品の仕様に対する表示

この資料に記載している製品・サービス仕様は、2024年12月現在のものです。
製品・サービスの改良などにより予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。